

第544回 テレビ岩手放送番組審議会

1. 日 時 2018年9月18日(火) 午後1時30分～

2. 開催場所 テレビ岩手 6階大会議室

3. 委員総数 9名

出席委員 7名

| | |
|------|--------|
| 委員長 | 三浦 茂樹 |
| 副委員長 | 恒川 かおり |
| 委員 | 佐藤 健志 |
| 委員 | 加藤 千晶 |
| 委員 | 渡辺 理雄 |
| 委員 | 前田 千香子 |
| 委員 | 石田 亨 |

欠席委員 2名

| | |
|----|-------|
| 委員 | 大橋 綾子 |
| 委員 | 高橋 司 |

社側出席者

| | |
|-------|----------------|
| 檜崎 憲二 | (取締役会長) |
| 榎野 信治 | (代表取締役社長) |
| 青山 尚之 | (専務取締役 兼 営業局長) |
| 畑山 篤 | (取締役編成局長) |
| 柴柳 二郎 | (報道制作局長) |
| 桑島 広実 | (報道制作局制作部長) |
| 高橋 芳 | (報道制作局制作部) |

事務局 遠藤 隆 (編成局放送番組審議会事務局長)

平山 亜希子 (編成局編成業務部副部長)

4. 議 題

1. 9/2(日) 13:30～14:25 ダイドードリンコスペシャル
高田の原動力 ～うごく七夕まつり～

2. その他

5. 資料（資料として以下のものを配布）

- ・ 視聴者からのご意見

6. 意見

委員側意見

○700年と言う歴史のあるお祭りということで震災があったにせよやっぱり続けていかなければならないという気持ちと、実際にどういう事で頑張ったのかという事が番組の中で良くとらえていて良く伝わる内容だった。

○陸前高田に関して、被災してから今までの状況などの話もあった方がよかった。

○祭りを通して陸前高田の震災前から震災を経て今まで7年半余りの時間の変化をよく表している番組だった。

○吉村作治さんが何故ここに出てくるのかの説明があるとよかった。

○「祭り人」と言う言葉が、馴染みのない言葉だったので、聞きなれない感じを受けた。説明があるとよかった。

○貴重な震災の前の映像がいくつか使われていて、それを見ることが出来て非常に良かったと思うが、住民の方の提供映像もあるのかなと思った。提供映像、提供資料をどのように扱うかはケースバイケースなのか？例えば出典を明らかにするなど決まりごとはあるのか。

○全国放送にすると良い内容だと思った。

○番組冒頭に「動」と言う文字がテロップで出ていて、「動」と言う事が大きなテーマと理解し、新しい町も動き人の気持ちも動き非常に丁寧な番組だと感じた。

○コミュニティが解体されてしまった大町組と震災の被害が少なく人も残って尚且つ子ども達まで継承されているような和野組、ある意味対照的な二つの組を取り上げたことで非常に番組としてまとまりがあった。震災後は集落での被災の程度の差があって、お祭りを開催にするにあたっては複雑な思いや温度差もあったと思うが、そういったものも時を重ねていくうちに変化していく事も読み取れた。

○どうしても被災地の復興と絡めて見てしまうが、個人でも生活が元に戻っているか、コミュニティとして人が戻ってきてまた生活し行事や祭りに交流して関わっていけるかという事が大事なので、そういった意味で、祭りが人を育てて未来へ伝える原動力は人であるというナレーションが非常に重く感じて非常にいい番組だと思った。

○こうした番組を制作して報道することが震災後の地元局の大きな役割だと改めて実感した。

局側意見

○「うごく七夕」と「けんか七夕」の二つの祭りがあるという事ですが、原則として個の番組は一つの祭りを取り上げる事になっており、また2012年に同じダイドードリンコスペシャルで「けんか七夕」を取り上げたので今回は「うごく七夕」一本でと考えた。

○吉村作治さんはダイドードリンコさんからの決まりもあり、話す内容に関してはお祭りを見て感じられたことがあの内容。

○陸前高田の町が未来に向けて動き出している内容の象徴として、大町のお店が再建されたところを紹介しましたが、陸前高田の経過を都度はさんでも良かったと反省。具体的に言うと、今年初めて海水浴場が海開きしたので、そういうシーンは入れても良かった。

○過去素材は弊社の報道部で撮っていた素材と、個人から提供していただいたものの二つを使用し個人のもので今回ご提供いただいた方々には事前にご相談してエンドロールのところの「協力」のところへ個人名を記載させていただく方法を取った。

○山車を動かす人達が祭り自体をこれからは繋げていく、さらには街を未来へ向けて動かす原動力と思い、今回「動く」をテーマにした。

○番組を初めて見る人がいるので、必ず「この祭りはこうで、吉村作治先生が頑張っていますよ。」と言う必要があり、番組を作る上で原則なので今後気を付けたい。

7. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

公表の方法

- ①自社放送 9月25日(火) 11:45-11:52 「あなたと歩むテレビ岩手」
- ②テレビ岩手本社での備え置き
- ③読売新聞への掲載(別添)
- ④自社HPでの掲載 <http://www.tvi.jp/banshin/index.html>